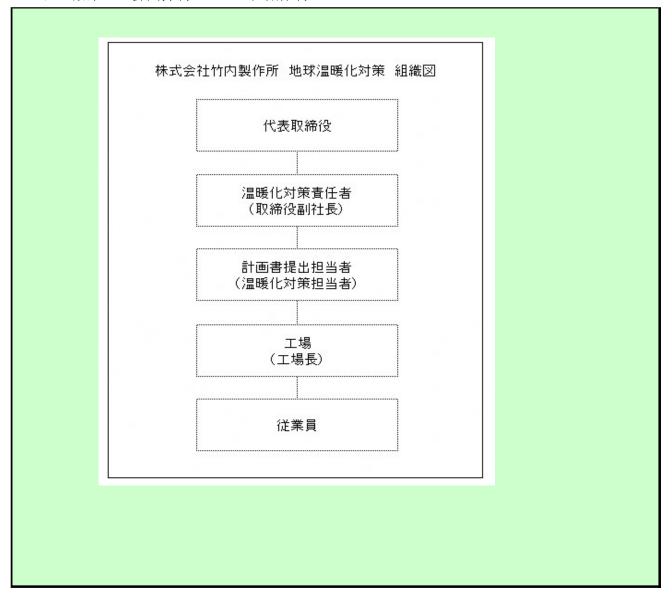
事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事第	業者等の権	既要	<u> </u>									
氏名又	は名称	株式	会社	上竹内製	作所							
代表	老名	氏	名	竹内	明雄			役職名	代表取締	· · · ·		
	事務所行生地		89-00 予県垣		城町	上平205						
	る事業	大分	}類	E 製造	造業							
の <i>5</i> 	分類	中分	}類	2621								
	る事業 既要	[標ベル	建設機械 準型ミニショベル(クローラー式、ホイール式、電気式)、超小旋回型ミニショ 、クローラーローダー、クローラーキャリア] び工業用撹拌機の設計開発から販売までの完成品メーカー									
		~	条例	第12条	第1項	頁第1号及び多	 条例施行共	見則第4条	条第2項第1	号に該当	する	事業者
	該当する		条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者									
安	学件		条例	第12条	第1項	頁第2号に該当	当する事業	美者				
			上記		任意	提出)の事業	 半者					
	算エネル 使用量		2321	k1		その他ガス 非出量合計	0	t- CO ₂ 自重	助車の台数		18	台
2 計画	画期間及で	てド報(生 対	多 年度								
計画期		26	→ / · · ·	年度	\sim	28	年度	報告文	対象年度	28		年度
3 計画	画書(報行	告書)の公表方法等										
	ニームペー											
可即	別物の閲	覧	閲覧場所 食堂 掲示板 閲覧可能時間 9:00-17:00 連絡先 総務部 総務課 (TEL 0268-81-1100)									
	その他											

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

・会社の行動規範の一つに、【環境への配慮】として、かけがえのない地球を次世代に継承するため、環境保全に努めるとともに、環境に役立つ技術の研究開発に自主的、積極的に取り組む事を掲げ、環境への取り組みを社員へ周知しております。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

1	6 07 I	エイル	イー起源一酸化灰素	系の排出抑制に	-徐の片	保寺の仏仏				
日標年度 目標排出量 4,169 t-CO2 目標原単位 98.89 t-CO2/ 千 t 常与度の合計から表力の目標的減率 28 年度 目標削減率 3.00 % 目標削減率 3.00 % 事年1 %ずつの削減目標とし、目標年度で3%削減を目指す。 **事業の内容により関于の尿単位を設定に関する説明 **事業の内容により関于されるのみ記載する(以下同じ)。 **事業の内容により関于されるのみ記載する(以下同じ)。 第一年度 排出量 4,401 t-CO2 原単位 83.75 t-CO2/ 千 t 寄与度の合計から表力と目標削減率 26 年度 削減率 (2.40) % 削減率 17.85 % 非出量等の増加により排出量は増加しましたが、省エネ化の推進により原単位では17%改善となりました。 # **事を関係を持力を表する。 **事を表の合計から表力がらまからまからまからまからまからまからまからまからまからまからまからまからまから	基 準	年 度	基準排出量	4, 298	t-CO ₂	原材料(鉄材)使用量	42	単位	千t	
1	25	年度	調整後排出量	3, 536	t-CO ₂	基準原単位	101. 95	t-CO ₂ /	手t	
28 年度 日標削減率 3.00 % 日標的減率 3.00 % 日標印度で3 %削減を目指す。	目標	年 度	目標排出量	4, 169	t-CO ₂	目標原単位	98. 89	t-CO ₂ /	千t	寄与度の合計から 求めた目標削減率**
日標設定に関する説明	28	年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
第一年度 調整後排出量 4,380 t-CO ₂ 原単位 83.75 t-CO ₂ / 千t 寄与度の合計から求めた目標削減率 (2.40) % 削減率 17.85 % 生産量の増加により排出量は増加しましたが、省エネ化の推進により原単位では 17%改善となりました。			毎年1%ずつの削	咸目標とし、目	標年度	とで3%削減を目打	首す。			単一の原単位を設定 できない者のみ記載
調整後排出量	笙	·在·连	排出量	4, 401	t-CO ₂	材料(鉄材)使用	52. 55	単位	千t	
生産量の増加により排出量は増加しましたが、省エネ化の推進により原単位では 17%改善となりました。 #出量	77	十反	調整後排出量	4, 380	t-CO ₂	原単位	83. 75	t-CO ₂ /	千t	寄与度の合計から 求めた目標削減率**
#出量等の 増減理由	26	年度		· ·						
第二年度 調整後排出量 4,405 t-CO ₂ 原単位 75.98 t-CO ₂ / 千t 素与度の合計から表めた目標削減率 ² 27 年度 削減率 (2.84) % 削減率 25.47 % 生産量の増加により排出量は増加しましたが、省エネ化の推進により原単位では改善となりました。					H 0 6 0	NCW (B. Allin	7111.212.37	//N-T-		
調整後排出量	第一	年度	排出量	4, 420	t-CO ₂	原材料(鉄材)使用量	58. 17	単位	千t	
生産量の増加により排出量は増加しましたが、省エネ化の推進により原単位では改善となりました。 排出量等の増減理由 排出量 5,152 t-CO ₂ 原材料(鉄材)使用量 65.08 単位 千t 調整後排出量 5,129 t-CO ₂ 原単位 79.17 t-CO ₂ / 千t 寄与度の合計から求めた目標削減率 ³ 28 年度 削減率 (19.87) % 削減率 22.34 % 工場2棟新設により、排出量が増加となりました。	77	. 1 /2	調整後排出量	4, 405	t-CO ₂	原単位	75. 98	t-CO ₂ /	千t	寄与度の合計から 求めた目標削減率 [※]
排出量等の 増減理由 排出量 5,152 t-CO ₂ 原材料 (鉄材) 使用量 65.08 単位 千t 第三年度 排出量 5,152 t-CO ₂ 原単位 79.17 t-CO ₂ /千t 寄与度の合計から求めた目標削減率 28 年度 削減率 削減率 (19.87) % 削減率 22.34 % 工場2棟新設により、排出量が増加となりました。	27	年度								
第三年度 調整後排出量 5,129 t-CO ₂ 原単位 79.17 t-CO ₂ / 千t 寄与度の合計から 求めた目標削減率 28 年度 削減率 (19.87) % 削減率 22.34 % 工場 2 棟新設により、排出量が増加となりました。					ロしまし	たが、省エネ化の	の推進により	原単位	では	
3調整後排出量 5,129 t-CO ₂ 原単位 79.17 t-CO ₂ / 千t 新子及の合計から 求めた目標削減率 ³ 28 年度 削減率 (19.87) % 削減率 22.34 % 工場 2 棟新設により、排出量が増加となりました。 目標の達成状 況及び排出量 (19.87)	第二	在.度	排出量	5, 152	t-CO ₂	原材料(鉄材)使用量	65. 08	単位	千t	
工場2棟新設により、排出量が増加となりました。 目標の達成状 況及び排出量	77—	. 1 /2	調整後排出量	5, 129	t-CO ₂	原単位	79. 17	t-CO ₂ /	千t	寄与度の合計から 求めた目標削減率 [※]
目標の達成状	28	年度					22. 34	%		
	況及び	排出量	工場2棟新設によ	り、排出量が堆	自加 とな	さりました。				

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準排出量 調整後排出量 目標排出量 目標削減率 排出量 調整後排出量 削減率	0	t-CO ₂ t-CO ₂ t-CO ₂ % t-CO ₂ t-CO ₂ v%	基準原単位目標原単位目標削減率原単位削減率	単位 t-CO ₂ / t-CO ₂ / %	寄与度の合計から 求めた目標削減率** ※事業の内容により 単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。 寄与度の合計から 求めた目標削減率*
目標排出量目標削減率 排出量 調整後排出量	0	t-CO ₂ % t-CO ₂ t-CO ₂ t-CO ₂	目標原単位目標削減率	t-CO ₂ / % 単位 t-CO ₂ /	求めた目標削減率** ※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
目標削減率 排出量 調整後排出量	0	t-C0 ₂	目標削減率	学位 t-CO ₂ /	求めた目標削減率** ※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
排出量調整後排出量	0	t-CO ₂ t-CO ₂	原単位	単位 t-CO ₂ /	※事業の内容により 単一の原単位を設定 できない者のみ記載 する(以下同じ)。
調整後排出量	0	t-CO ₂		t-CO ₂ /	単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。 寄与度の合計から
調整後排出量	0	t-CO ₂		t-CO ₂ /	
削減率		%	削減率	%	
排出量	0	t-CO ₂		単位	
調整後排出量		t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた目標削減率 [※]
削減率		%	削減率	%	
排出量	0	t-CO ₂		単位	
調整後排出量		t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた目標削減率 [※]
削減率		%	削減率	%	
	調整後排出量	調整後排出量	調整後排出量 t-CO ₂	調整後排出量 t-CO ₂ 原単位	調整後排出量 t-CO ₂ 原単位 t-CO ₂ /

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

603	日男甲	少使用に仕り一般	化灰素の排出抑制に	がつ!	は一般を表現し		
基 準 25	年 年 年 度	基準排出量	21	t-CO ₂			
目標	年 年 年 度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
目標記	没定に 5説明						
第 一 26	年 年 度	排出量	21	t-CO ₂	削減率	0	%
排出	量等の 理由						
第二27	年 度 年度	排出量	21	t-CO ₂	削減率	0	%
排出量 増減							
第 三 28	年 年 度	排出量	21	t-CO ₂	削減率	0	%
目標の 況及び の増減	達成状 排出量 域理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I , II	1	燃料使用量等の 定期的な把握						
1 \ 11	2	エコドライブの 励行						
III、IV		次世代自動車の 導入						

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

				計画		実績
番号	区分	対策内容	表施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	380752 LEDの導入	H26	40	H26	80
2	エネ起	380752 LEDの導入	H27	20	H27	60
3	エネ起	380752 LEDの導入	H28	20	H28	20
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	0	250	0	0	250

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂	0		0	0	0
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO_2	0		0	0	0
J ークレジット制度により創出されたクレジット	tCO_2	0		0	0	0
県が認証したクレジット	tCO_2	0		0	0	0
電気の利用に伴うもの	tCO_2	762		21	15	23
低炭素電力の利用	tCO_2	0		0	0	0

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況

(所、t-CO₂)

工場等の規模	基準年度		第一	第一年度		年度	第三	年度
(原油換算エネルギー使用量)	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500kl以上 3,000kl未満								
1,500kl未満	3	4, 298	3	4, 401	3	4, 420	3	5, 152
合計	3	4, 298	3	4, 401	3	4, 420	3	5, 152

12 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH_4	0	0	0	0
N_2O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

13 次世代車使用台数及び導入計画

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼ ル自動車	0	0	0	0
その他	0	0	0	1
合計	0	0	0	1
自動車総数	17	17	17	18
次世代車導入割合				5. 6

14 中小企業支援

区分	内容
中小企業への 省 エ ネ 診 断	「特になし」
その他	「特になし」

15 交通対策

区分	実施内容	
ノーマイカー 通 勤	・マイカー通勤率;97%です。	
公共交通機関 の利用促進		
来 客 者 の 交 通 対 策	「特になし」	
物流の合理化	「特になし」	

16 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

17 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	空調機の設定温度を夏季28度、冬季20度としております。	
第一年度実績	空調機の設定温度は概ね遵守されております。	
第二年度実績	工場内照明のLED化を推進中です。	
第三年度実績	本社工場2棟を新設し、LED照明、高効率空調、太陽光発電を導入しました。	

18 自由記載欄

ľ	区分	内容	削減量(tCO ₂)
	基 準 年 度 以前の取組み	省エネルギー推進委員会を設置し、従業員への啓蒙、パトロールを行っております。	10
	その他	「特になし」	